

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は10日間程度）

ジャンル：知財

講習会コード：t d s 2 0 2 5 0 4 1 7 k 1

発明提案書作成のツボ、知財部や外部弁理士が書いたクレームや特許明細書を的確にチェック・評価するポイントを押さえれば、作業効率UPだけでなく、発明の価値向上や新アイデアにも繋がります。

また、急速に進化している生成AIを上手く活用することで、更なる作業効率UP、発明の価値向上が期待できます。

生成AIを活用した発明提案書の書き方と特許明細書チェックのコツ

講師：よろず知財戦略コンサルティング 代表、医学博士 萬 秀憲 氏

花王（株）にて商品開発研究に従事（入浴剤バブ等を開発）、東京研究所室長、栃木研究所室長を務める。1999年大王製紙（株）入社、家庭紙開発部長、2005年よりH&PC事業部知的財産部長、執行役員、参与を歴任し2020年1月に退職。大王製紙（株）に入社当初は年間35件の特許出願数だったのを、様々な施策を行い、5年目には335件まで大幅に増やし、特許登録件数も年間300件以上となった活動を主導した実績がある。2020年4月より現職にて、延べ12社への知財戦略等のコンサルティング業務やセミナー講師など多岐に活躍。2021年より知財AI活用研究会へ参加し、汎用AI（第3世代AI&第4世代AI）の知財業務への活用を研究。

●日程 2025年4月17日（木）13:30～16:30

●受講料 24,200円（税込/テキスト付） ※2/17（月）までにお申込の場合、19,360円（2割引）となります

<プログラム>

I. 発明とは？

1. 発明とは？
2. 特許される発明とは？
3. 質の高い発明とは？
4. 良い発明とは？
5. 権利取得には、発明の本質の把握が大切
6. 権利取得には、先行技術との対比が大切
7. 取得したい権利範囲と取得できると考える権利範囲

II. 生成AIとは？

1. 生成AIとは？
2. 生成AI活用の現状

III. 事業に貢献する発明提案書作成のポイントと生成AI活用のコツ

1. 発明（提案したい技術）の本質を把握し、取得したい権利範囲を想定していること
2. 発明（提案したい技術）が従来知られていない技術で先行技術と構成の差があること
3. 発明は「課題」「作用効果」「構成」がセット
4. 先行技術と構成の（微）差があれば、「課題」「作用効果」の違いの説明の仕方が鍵
5. 発明の名称、技術分野の考え方
6. 発明の背景技術、従来技術、先行技術文献、発明の概要の説明の仕方
7. 発明のポイント、発明が解決しようとする課題、課題を解決するための手段、発明の効果の説明の仕方
8. 発明を実施するための形態、実施例、図面、産業上の利用可能性の説明の仕方
9. 会社の事業戦略上、R&D戦略上の位置付けの説明の仕方
10. 知財部、外部弁理士への説明の仕方

IV. 「広く強い特許」を取得するための生成AIを活用した特許明細書等のチェックポイント

1. 特許請求の範囲（クレーム）のチェック
(1)新規性 (2)進歩性 (3)侵害立証性 (4)回避困難性 (5)不要な限定の有無 (6)発明のカテゴリの妥当性
2. 明細書のチェック
(1)発明思想の説明の明確性、十分性 (2)個々の構成要件の説明の十分性
(3)課題、効果の関係性 (4)用語・表現（定義、誤記、用語の段階的記載）
(5)数値規定（数値範囲の段階的記載、数値範囲の上下、数値範囲の理由）
(6)記載不備（36条関係：実施可能要件、サポート要件、明確性要件）
(7)将来の補正を考慮した記載
(8)実施例、比較例の整合性（クレームと実施例・比較例、課題・作用効果と実施例・比較例、ベストモードと実施例・比較例）
(9)図面・表のチェック
3. 知財部、外部弁理士とのコミュニケーションの取り方

<講義概要>

特許出願を契機に、自らの発明に気づき、発明を自らの手で育て上げることが、研究者・技術者自身の大きな財産となります。限られた時間での的を射た「発明提案書」や「特許明細書」を書くことは創造活動そのものとも言えます。

演者は長年にわたり、研究者および管理者として発明創出、出願、知財組織作りに従事してきました。その中での数多くの提案書や明細書の作成や添削チェックの経験と実績をベースに、「発明提案書」を書くのが「苦手・嫌い」という研究者・技術者が、苦手意識を払しょくし、「発明提案書」に取り組みやすくなり、短時間で目撃質の高い「発明提案書」を書けるようになるポイント、及び、事業に貢献するという視点での「発明提案書」の書き方を解説します。

また、研究者・技術者が、外部弁理士が書いた「特許明細書」を的確にチェック・評価し、広く強い特許を取得することができるようになるための基礎知識とノウハウ（コツ）について解説します。

講義では、発明提案書作成の場面、特許明細書チェックの場面での生成AIの活用のコツを、それぞれの場面で解説します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/4/17	生成 AI を活用した発明提案書の書き方と特許明細書チェックのコツ		
会社名※				
所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small>	〒			
参加者①	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>			
参加者②	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>			
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF 請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
備考※				

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		